

平成 28 年度浙江省友好交流員レポート（1 月）

浙江省友好交流員 三澤拓巳

交流員としての留学も残すところあとわずかになりました。1 月 16 日に大学のテストは終了し、もう授業はありませんが、2 月まで残りの浙江留学を精一杯頑張りたいと思います。

さて、私は新年の年越しをここ杭州で迎えました。さらに今年は旧正月に当たる「春節」が同じく 1 月中にありましたので 1 月に 2 回の年越しを体験しました。最初の年越しは他の交流員や友達たちと杭州の繁華街の方に出向き大勢の人と共に迎えました。感想としては新年の年越しではありますが、街にはなぜかクリスマスの電飾が未だに多く残り不思議な感じがしました。2 回目（春節）の年越しは残念なものになってしまいました。当初は 1 月 1 日の年越しよりも派手で賑やかなイメージでしたが、実際は多くの中国人は故郷に帰り家族と過ごすため、ほとんどのお店は閉まり、大学の校内は人が少なく活気もなく、静かな年越しでした。もちろん賑やかに春節を迎える場所もあるはずですが、私の周りには静かでした。しかし、この経験も中国の文化を学ぶためには貴重なものになりました。

1 月のレポートのテーマですが、今回は 1 月 17 日～21 日に行った「浙江省内研修旅行」にしたいと思います。この研修旅行は日本の他県（静岡県・福井県）からの交流員、他国（韓国・タイ・インドネシア）からの交流員と共に浙江省内のいくつかの都市を視察・観光を兼ねて旅行するものです。今年度の研修旅行は浙江省の比較的東南部にあたる地域に行きました。温州市，乐清市，天台县，仙居県の 4 つの都市です。温州市では中国書道（书画）を紹介する施設やお寺、浙江省の工芸品を多く展示する博物館、CHINT（正泰）という企業などを視察・見学しました。乐清市では雁荡山の夜景を見学し、次の日に同じく雁荡山にあるお寺や綱渡りパフォーマンスを見学しました。天台县は天台宗の総本山である「国清寺」を訪れました。その後「和合人間文化園」を見学しました。仙居県では歴史ある古い村を訪問し、またロープウェイを使って山登りなどをしました。各地の外事弁公室の方々や現地の方が訪問先で解説をしてくれましたが、ほぼ中国語であったため、おおよその意味しか理解できず自分の中国語能力の未熟さを痛感しました。しかし、本当に貴重なものばかりでしたので見学するだけでも大変勉強になり、素晴らしい経験になりました。中でも私は中国文化や仏教文化に興味がありますので、各地で様々なお寺を見学できたことが大変光栄に思いました。



以下は1月の出来事をご紹介します。

この日は西湖の南にある「雷峰塔」に行きました。西湖十景の一つでもある雷峰塔から眺める西湖は大変きれいです。

またここは中国の有名な物語の一つ「白蛇伝」にも登場する場所です。



この日はテスト後にクラスメイトと散歩に行きました。散歩することによって日本のガイドブックには載らない、けれど現地の人には有名な興味深い場所を発見できるので、散歩はおすすめです。



1月下旬のこの日は春節でお店の多くが閉まっているので、一人で西湖の方へ散歩兼探検に行きました。

「蘇堤」「曲院風荷」「花港観魚」という西湖十景の三つに行きました。西湖十景をまだ制覇していませんが、帰国までには十景すべてを見てみたいです。

